

令和 3 年度

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

2. 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
① 暴力行為の状況等	粗暴な言動をする事案は、前年度より減少した。
② いじめの状況等	学校全体で、未然防止と早期発見、早期対応に取り組んでいる。いじめを認知した場合、情報共有をしながら、解消に向けて組織的に取り組んでいる。
③ 小・中学校における不登校の状況等	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うさまざまな制約により、規則正しい生活になじみにくい状況が見られる。特に、連絡のつかないままの遅刻や欠席の増加が課題である。学級担任をはじめ、多くの教職員で本人と保護者へ働きかけるとともに、区役所の子育て支援、こどもサポートネットなど関係諸機関と連携して、登校支援を進めている。 また、リモートによる学習参加も活用している。